



平成 29 年度第 1 回 J A S D I フォーラム (案)
地域包括ケアと医薬品情報
- 医薬品の適正使用における薬剤師とMRの役割 -

地域包括ケアシステムは従来の病院完結型医療ではなく地域完結型医療であり、急性期医療から在宅医療まで継続した薬物治療の管理が出来て初めて、患者にとって安心・安全な医療を提供することが出来る。その中で薬剤師やMRは継続した薬物治療の管理において、医薬品の適正使用に寄与する大きな役割を負う。

地域包括ケアでは患者を中心に医療従事者だけでなく、その家族、ヘルパー、ケアマネージャーなど多くのひとが関わる。このような状況の中で病院薬剤師、薬局薬剤師、MRが医薬品の適正使用や医薬品情報にどう関わっていくべきなのか。

本フォーラムでは、地域包括ケアにおける医薬品の適正使用について、行政、病院薬剤師、薬局薬剤師、MRそれぞれの立場から現状の課題と今後のあり方について議論したい。

日時：平成 29 年 7 月 22 日 (土) 13:30~16:45 (受付開始 13:00 から)

場所：東京大学薬学系総合研究棟 2 階 講堂

<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~kyoumuk/kodo-access.htm>

主催：(一社)日本医薬品情報学会 (J A S D I)

後援：日本製薬工業協会、(公財)MR認定センター

[プログラム] (演者および演題は全て仮題です。)

13:30~13:35 開会挨拶 (一社)日本医薬品情報学会 理事長 林 昌洋

座長：(公社)東京都教職員互助会 三楽病院 薬剤科 主査 永野靖典

13:35~14:05 講演：「地域包括ケアにおける医薬品の安全管理」
厚生労働省 安全対策課長 佐藤大作

14:05~14:35 講演：「地域包括ケアにおける病院薬剤師の現状と課題」
帝京大学ちば総合医療センター 薬剤部 課長 飯塚雄次

— 休憩 (14:35~14:50) —

14:50~15:20 講演：「地域包括ケアにおける薬局薬剤師の現状と課題」
(一社)全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 副会長 宇田和夫

15:20~15:50 講演：「地域包括ケアにおけるMRの現状と課題」
【Oncology MR Training Project】 主宰 高橋洋明

15:50~16:40 総合討論 座長：市立敦賀病院 薬剤部 部長 荒木隆一
「地域包括ケアにおける多職種連携と医薬品情報のあり方」

16:40~16:45 まとめ・閉会挨拶

フォーラム参加費：会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生（社会人学生を除く）1,000 円（当日会場にて）

申込方法：日本医薬品情報学会のホームページよりお申し込みください
(<http://www.jasdi.jp/>) .

申し込み締め切り：平成 29 年 7 月 19 日（水）ただし、定員に達した場合は途中で締切ります。

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、日本医薬品情報学会が指定する講演会です。本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出（証明書）」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。

詳細は日本医薬品情報学会のホームページをご確認ください(<http://www.jasdi.jp/>) .
希望者には、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール」または「日病薬病院薬学認定研修単位シール」を配付致します。